

内部情報システム構築業務 評価項目及び評価基準

1 書類審査評価基準

書類審査（企画提案書）の評価項目は以下のとおりとする。

評価項目	評価基準	
非機能要件	規模要件、性能要件 【仕様書第2章2,3】	<ul style="list-style-type: none"> ・規模や利用状況に相応な稼働環境を提案しているか。 ・性能及び信頼性の向上を図るために何か対策を講じているか。
	信頼性要件、拡張性・柔軟性要件 【仕様書第2章4,5】	<ul style="list-style-type: none"> ・システム障害時の対応及び指標等が示されているか。 ・柔軟性及び拡張性要件が示されているか。 ・上位互換性要件が示されているか。
	事業継続性要件 【仕様書第2章8】	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続性に向けた具体的な対策が示されているか。
情報セキュリティ要件 【仕様書第3章】	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ要件に対応した適切な情報セキュリティ対策を講じているか。 	
情報システム稼働環境 【仕様書第4章】	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の環境に適したサーバ構成が示されているか。 ・柔軟性及び汎用性の高いソフトウェア構成になっているか。 	
テスト要件 【仕様書第5章】	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト要件に沿って各工程の作業が明確になっているか。 ・本市での作業や役割が明確になっているか。 ・テストの規模や指標が具体的に設定されているか。 	
移行要件 【仕様書第6章】	<ul style="list-style-type: none"> ・移行要件に沿った具体的な作業内容及び作業期間等が提示されているか。 ・新内部システムで用いる文字コード(外字)などの対応について明示されているか。 	
教育及び本番切替 【仕様書第7章】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育要件に定める研修進め方について具体的に示されているか。 ・本番切替の方法及び手順について具体的に示されているか。 	
運用要件 【仕様書第8章】	<ul style="list-style-type: none"> ・運用サポートの内容及び体制が明記されているか。 ・運用費用が発生する場合、費用の内訳や考え方が本市に配慮した内容で示されているか。 	
保守要件 【仕様書第9章】	<ul style="list-style-type: none"> ・保守要件が具体的に示されているか。 ・保守費用が発生する場合、費用の内訳や考え方が本市に配慮した内容で示されているか。 	
作業の体制及び方法 【仕様書第10章】	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のための実施体制は、十分な内容か。 	
価格評価 (5年間の総額)	本市で定めた採点基準により採点	

2 デモンストレーション評価基準

デモンストレーションの評価項目は以下の通りとし、本業務の対象となったすべてのシステムを対象に評価を実施する。操作性の評価については、提案者によるデモンストレーションと評価者による質問を行い、機能要件一覧に記載された内容に関する確認と併せて操作性の確認を行う。

評価項目	評価基準	
機能要件 【仕様書第2章1】	・別紙「機能要件一覧」に示す要件に改修を含めて対応しているか。	
拡張性・柔軟性要件 【仕様書第2章5】	・キャッシュレスやペーパーレスなど、自治体 DX への対応が容易なシステムが提供されるか。	
操作性	操作性:メニュー構成及び展開	・業務に沿ったメニュー構成で、操作する機能がわかるようになっているか。
	操作性:画面展開の容易性	・画面から画面に展開する際に、構成や配置など見やすく工夫されているか。 ・サブ画面等や機能ボタンも統一されているか。
	明確性:画面表示のわかりやすさ	・画面表示が分かりやすく、使用頻度の高い操作を簡便に行えるデザインか。 ・入力項目、表示項目など用途に合わせた表示になっているか。
	正確性:作業の誤りを防ぐ機能	・入力ミスを事前に指摘するアラート機能が適宜組み込まれているか。 ・入力項目にヘルプ機能等備えているか。
	印刷機能	・印刷範囲の設定が容易で頻度に合わせた構成になっているか。 ・プレビューや再印刷などに配慮した機能になっているか。

3 プレゼンテーション評価基準

プレゼンテーションの評価項目は以下の通りとする。

評価項目		評価基準
自治体 DX に関する基本的な考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・今後市内における自治体 DX を進めるうえで重視すべき点は何か。 ・自治体 DX を進めるうえで、本紙に対しどのような協力ができるか。
システム製造・改修と、保守運用の全社・グループ体制		<ul style="list-style-type: none"> ・新内部情報システムの調達を行う事業者は、当システムの製造・改修を行う事業者と同一事業者か、あるいは親会社・関連会社など別事業者か。 ・親会社・関連会社など別事業者が製造・改修を行う場合の対応は万全か。
提案概要説明	体制評価	・本市のシステム構築を担当する責任者(プロジェクトリーダー)の実績は、本業務に相応しいものか。
	実績評価	・他自治体への導入実績は妥当か。近隣自治体での導入実績は十分か。
	運用・保守要件	・システムが稼働している自治体での運用実績が具体的に示されているか。
	提案網羅性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案された内容に対応してのQAに対応して具体的な返答が得られたか。 ・提案内容に不備等はないか。
	特記事項	・仕様書にない事項で本市の業務効率化に資する提案が見られたか。(但し経費は見積りの範囲内であること)

1 書類審査評価（価格評価以外）：計 60 点

1 書類審査評価（価格評価）：40 点

2 デモンストレーション評価：計 60 点

3 プレゼンテーション評価基準：計 40 点

合 計 200 点